

- 市道改良(単独)事業 (市単独で道路の改良・災害防除・舗装などの工事を行う).....4億3,600万円
- 本渡・熊本航路特別対策事業 (本渡・熊本航路に就航する高速船の航路維持や利用促進を図るために補助を行う).....2,000万円
- 広域ネットワーク整備事業 (支所・公民館・学校などの公共施設間を高速の通信網で整備し、行政事務の効率化や地域における情報格差の是正を図る).....4億8,606万円
- 地域ICT利活用モデル構築事業 (情報通信技術〔ICT〕の利活用により、地域経済の活性化や地場産業の育成を図る).....7,799万円

きこの事業に取り組み、海上交通手段の確保を図っていきます。また、「本渡・熊本航路」については生活航路として、また、平成22年春の九州新幹線鹿児島ルート¹の全線開通を控え、観光客の増加を図るうえでも欠かせない重要な交通アクセスの一つであることから、熊本県や熊本市と協力して航路存続に取り組んでいきます。



▲新エネルギーの導入促進を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する人に費用の一部を補助

天草地域において昨年4月、観測史上初の光化学スモッグ注意報が発令されました。中国大陸の大気汚染などが原因といわれており、地球規模での環境汚染が身近

⑥ 環境と共生のまちづくり

情報化の推進については、本庁・支所・学校・公民館などの公共施設を光ファイバーで結ぶ高速通信網の整備を完成させ、住民サービスのおお一層の向上をはじめ、教育の充実、地域活動の活性化、行政事務の効率化などを行っていきます。

また、観光産業をはじめとする各種産業や地域活動などの活性化を図るため、「天草Webの駅・情報タワー」の構築に引き続き取り組みとともに、天草Webの駅の会員を募集し、インターネットや携帯電話を活用して地域情報などの発信に取り組んでいきます。

に及んでいることを実感させられた事例であり、資源循環型社会や環境に配慮した経済システムの構築に向け、さらなる取り組みを進めていきたいと考えています。

このような取り組みの一つとして、生活排水汚泥や生ゴミなどの有機性の資源であるバイオマス²を、エネルギーや堆肥として活用するために策定した「天草市バイオマスタウン構想」に基づき、バイオマスセンターの建設などの基本方針の検討に入ります。

牛深し尿処理場については、今年度から来年度にかけて基幹施設整備を行い、機能の維持を図っていきます。

国の「循環型社会形成推進基本計画」の改定を踏まえ、廃棄物の

適正処理をはじめ、ゴミ排出量の削減や資源化率の向上を図るとともに、廃棄物の不法投棄対策にも取り組んでいきます。

さらに、引き続き、住宅用太陽光発電システムの設置者に対して補助を行い、新エネルギーを利活用したまちづくりを推進していきます。

下水道や浄化槽などの生活排水処理施設については、快適な生活環境を確保し、海や河川の水質保全を図るうえで欠くことのできない社会基盤であるため、地域の実状に応じた整備を推進していきます。

- バイオマスタウン事業 (生ゴミなどのバイオマス資源を有効活用するバイオマスタウン構想実現へ向けた調査等を行う).....2,122万円
- し尿処理施設整備事業 (牛深し尿処理施設・本渡衛生センターの整備を行う).....3億2,952万円
- 住宅用太陽光発電システム設置費補助金 (住宅用太陽光発電システムの設置経費を補助し、新エネルギー導入の促進を図る).....1,100万円